



無所属・無党派 無駄遣いを許さない福祉充実の政治

発行者：さいたま 変革の会

川村 準

じゅん

10月6日号

週間活動レポート

〒336-0017

南区南浦和2-28-9-102

携帯 090-1404-2151

junkawamura1923@gmail.com

既存政党に政治改革は無理

無所属がつくる市民寄りの市政

国政では政権交代後、自民党と民主党がともに消費税の増税に賛成し、外交などの政策も違いが不明確になりました。地方政治でも政党間の政策はほとんど違いがない状態です。そうした中、さいたま市政の政治改革は「無所属」のみが変えられる、との主張をまとめました。

政治費、改革の必要なし？

さいたま市議会では含まれる清水市長与党が7人、無所属が2人(2人と元民主)となっています(1人欠員)。しかし、政党は多岐にわたる政策の違いが本レポートで度々問題視している政務活動費(議員の年収以外に政治活動に使

用出来る公金。年間1人当たり408万円)についても、改革すべきポイントが数多くあります。そもそも、1300万円の年収を受け取る議員に高額な政務活動費は必要なのか。また、使用基準もチェックが甘く市政以外の使用も容易に出来る点や、他の自治体では政務活動費で使った領収書をネットで公開している議会があるもの、さいたま市ではそういった情報公開の改革がまだ未整備な点など問題が山積みです。

そうした政務活動費の問題を、話題にしている今だからこそ改革するチャンスだ、と現職の議員に私が直接訴えたと

今週土曜にサウスピアで勉強会 あなたの参加をお待ちしています

現職の議員が議会や自分たちの内輪の世界を優先してしまっているのは、議員にとって一番大事である選挙で、政党の応援や一部利益を代表する団体の支援を受ける事で当選している現状があるためです。そうした点を踏まえ、と「無所属・無党派」の議員の選出が急務です。今週土曜日(11日)には、私が主催する勉強会がサウスピア8階の第6集会室で開催されます(入場無料)。無所属でしか出来ない政治改革やさいたま市政の問題点について色々論じる予定です。皆様のご参加をお待ちしています(詳細は裏面参照)。

ころ、「する必要はない」との回答。このように政務活動費をはじめとする議員特権に関しては、特に政党間の違いがありません(この他、ハコモノ建設もオール与党で賛成している現状があります。ハコモノ問題は次号以降に掲載予定)。